



経済教育ネットワーク

Network for Economic Education



## 大阪部会(第 69 回)

日時: 2020年 5月 23日(土) 14:00 - 16:00

場所: ネット会議

参加者: 篠原代表を含め25名

### 【内容要旨】

1. 今回は、北海道から沖縄まで、多数の方が出席していたため、まず数名にご挨拶いただいた後、新井明氏(早稲田大学ほか)から、東京部会など最近の経済教育ネットワークの動向について報告があった。

2. 安野雄一氏(東三国小学校)から「インバウンドと未来の日本・大阪」と題する、小学3年生に対する授業実践が報告された。学校、家庭、地域のつながりを大切にしながら、価値判断や意思決定ができ、よりよい未来づくりに活かすことのできる子どもを育てることを目的に組まれた、全11回の単元授業である。

まず、生徒は身近な地域と大阪市のインバウンドの現状と経緯を知ることから始め、資料に基づいてより詳しくインバウンドが増えた理由を考える。その後、ドラッグストア店長との遠隔授業や、地元商店街等へのインタビューを通して、インバウンドの良い点や悪い点を整理する。全授業を通して、横軸にインバウンドを拡大すべきか縮小すべきか、縦軸に私たちや家族にとってよいか悪いかの四象限の図を用意し、毎回、子ども達に自分の立ち位置を示させることで、価値判断が変化することを体験させる仕掛けとなっている。単元の後半では、インバウンドを取り巻く状況について調べ直し、対話を通して思考を深め、より高次の価値判断を行わせる。そして終盤では、今と将来とを合わせて考える時間軸を加え、学習したことを活かして大阪観光マップを作成し、駅の掲示板に載せて最終成果とする。

参加者からは、最初に大きなトピックスを与えて資料収集、フィールド調査、議論などは子ども達自身が行い、それを繰り返すことで、学習の結果を社会に活かすところまで到達していると評価された。その一方、政府の役割という視点を加えた方がよい、世界のグローバル化というより広い視点を最初に与えた方が見通しが良くなるのではないか、などの意見があった。

3. 関本祐希氏(市岡高等学校)からは「為替相場の変動要因の授業」が紹介された。高校2年生の政経で取り上げた内容であり、為替レートがどのような要因で変動するのかを深く理解させることを狙っている。単なる教科書の丸暗記にしないために、家庭や会社で、円をドルに換えたりドルを円に換えたりするのはどんな時なのか、いくつかの場面設定をして、生徒にその役柄を演じさせるという工夫をこらしている。

大学入試問題においても、為替レートの決定因が取り上げられることは珍しくなく、中でも2国間の財サービスの価格比と為替レートとの関係を問うものが目立つ。購買力平価説につながる考え方である。関本氏は、今回の部会において、購買力平価説をはじめとしたファンダメンタルズに基づく為替レート変動要因の理解を参加者に確かめたかったようである。それに対し、篠原総一代表からは、為替レートの決定因の話と、為替レートの変化が経済に与える影響の話とを混同しないことがまず重要との指摘があり、現代の為替レートは購買力平価説など教科書にあげられている要因で決まるものではないとの意見も示された。あわせて、中国の大学入試問題が紹介され、外国為替市場など為替レートが決定される仕組みを理解した上でなければ答えられないと説明された。そのほか、荒渡良氏(同志社大学)および野間から、大学での教え方について紹介された。



経済教育ネットワーク

Network for Economic Education



4. 丹松美代志(大阪学びの会代表)から、「社会科教育における新聞の活用」と題する報告があった。まず、新聞を活用した実践事例がいくつも紹介され、NIE学習の進め方や課題がまとめられた。丹松氏自身も新聞活用の実践を重ねてきており、大学教育学部1年生に対しても、新聞を読ませ、書かせ、議論する授業を行っている。それらを踏まえて、何よりも継続し習慣化することが重要であることが強調され、記事の選択の仕方や新聞活用授業の成果などがまとめられた。

それに対し、多くの参加者から新聞活用の経験、成果、留意事項が示され、補足的な情報も提供された。また、新聞を読まない生徒が多く誰でもインターネットで無数の情報を入手できる時代に、新聞を活用することの意義やネット情報との関係についても議論された。李洪俊氏(大和川中学校)、川瀬雅之氏(札幌市立北翔養護学校)、奥田修一郎氏(大阪教育大学)らからは、ネット上にある情報を見る目を養い価値判断する能力を高めるには、一定品質が保たれ書き手の立場がはっきりしている新聞を使った授業が有効であるなどの意見が出された。

(文責:野間敏克)

チェックボタン

✓テスト問題 (新テストなど)	✓中学 ✓小学	✓高校	✓指導案	✓新聞教材(NIE)
--------------------	---------	-----	------	------------

次回開催予定: 7月18日(土)14:00~16:00、ネット会議

議題:安野氏らの教材検討、情報交換